

中学校一年生 *単元確認テスト* 二学期 ①		方言と共通語
組 番	氏 名	
		/ 10

一 次の(1)～(6)の文は、方言と共通語のいずれかについて説明した文です。方言はア、共通語はイの記号を ☐ に書きましょう。

【各一点】

- (1) 全国向けのニュースや、不特定多数を対象としている。
- (2) 地域の風土や生活に根ざした独特の表現が多い。
- (3) どの地域の人にも通用する。
- (4) 語句・表現、文法、発音などに、地域ごとの特色が表れる。
- (5) 異なる地域の人々が円滑に交流できる。
- (6) ふるさどで受け継がれている。

--	--	--	--	--	--

二 富山県の方言とされる、次の(1)～(4)の言葉について、共通語の意味を書きましょう。

【各一点】

- (1) きのだくな
- (2) まいどはや
- (3) きときと
- (4) また、こられ

--	--	--	--

中学校一年生 *単元確認テスト* 二学期 ②		漢字の音訓
組番	氏名	
		／ 10

一 次の(1)・(2)の熟語は二通りの読み方ができます。ア、イのそれぞれの――線部の読み方を書きましょう。 【完答 各一点】

- (1) ア 人気のない通り () ()
イ 人気のある店 () ()
- (2) ア 七変化 () ()
イ 変化した物質 () ()

二 例にならって、次の(1)・(2)の漢字の二通りの音と、それぞれの読み方をする熟語を に書きましょう。 【音と熟語で完答 各一点】

【例】	間	カン	空間	ケン	世間
(1)	生				
(2)	幕				
(3)	気				

三 次の(1)・(2)の漢字について、例にならって、①には一字で意味がわかる訓、②には読み方を に書きましょう。 【完答 各一点】

【例】	足	あし	①意味がわかる訓
(1)	表		
(2)	背		

足りる	た	②読み方
表す		
背く		

中学校一年生 *単元確認テスト* 二学期 ③		文の組み立て①
組 番	氏 名	
		/ 10

一次の(1)～(4)の文の主語には――線を、述語には――線を、〈例〉にならって書きましょう。 【完 答 各 一 点】

〈例〉弟が学校に行く。

(1) 犬が野原を走る。

(2) 森は別世界のように静かだ。

(3) グラウンドには、両親もいる。

(4) 彼こそ本当の勇者だ。

二次の(1)・(2)の文の――線部の修飾語が修飾している文節に――線を
書きましょう。 【各 一 点】

(1) 彼は、優しいリーダーだ。

(2) おばあさんは、ゆつくりと思い出を話した。

三次の(1)・(2)の文の接続語に――線を書きましょう。 【各 一 点】

(1) 登山は苦しかった。しかし、頂上で見た景色は最高だった。

(2) 暑かったので、水筒のお茶をたくさん飲んだ。

四次の(1)・(2)の文の独立語に――線を書きましょう。 【各 一 点】

(1) 一生懸命、それが合い言葉だ。

(2) やあ、会えてうれしいよ。

中学校一年生 *単元確認テスト* 二学期 ④		文の組み立て②
組 番	氏 名	
		／ 10

一次の(1)～(3)の文の、並立の関係にある二つの文節に――線を書き
ましよう。

【完答 各一点】

(1)海は深くて広い。

(2)彼の優しく温かい声にほっとした。

(3)汗と涙を流した日々を振り返る。

二次の(1)～(3)の文の、補助の関係にある二つの文節に――線を書き
ましよう。

【完答 各一点】

(1)新しいボールペンを使ってみる。

(2)買ってほしいものを紙に書いて父に渡す。

(3)今年も渡り鳥がやってきた。

三 次の(1)・(2)の文は二通りの意味に解釈できます。指示に従って、そ
れぞれの意味が明確になるように書きかえましよう。 【各一点】

(1)ぼくは大井さんと松木さんを誘った。

※誘われたのは大井さんと松木さんと分かるように読点を打つ。

〔

※誘われたのは松木さんだけだと分かるように文節の順序を入れ替える。

〔

(2)美しいドレスを着た人形をもらった。

※美しいのはドレスだと分かるように読点を打つ。

〔

※美しいのは人形だと分かるように文節の順序を入れ替える。

〔

〕